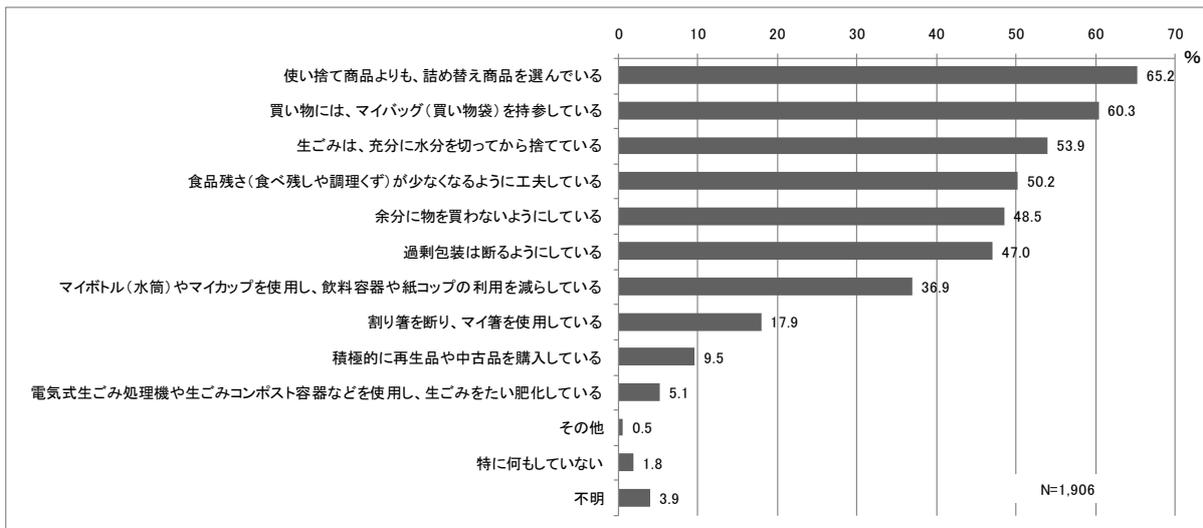


V ヨコハマ3R夢(スリム)プランについて

問 27 あなたのご家庭では環境モデル都市横浜の実現に向け、ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていることはありますか。(複数回答)

- ・「使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる」が 65.2%、「買い物には、マイバッグ(買い物袋)を持参している」が 60.3%で、これらは6割を超える人が挙げている。次いで「生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている」(53.9%)、「食品残さ(食べ残しや調理くず)が少なくなるように工夫している」(50.2%)は5割を超えている。

図 ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていること



■ 年齢別 ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていること

- ・20歳代から50歳代までは「使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる」、60歳～74歳は「買い物には、マイバッグ(買い物袋)を持参している」、75歳以上は「生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている」が最も多い。また、40歳代で「過剰包装は断るようになっている」、75歳以上で「食品残さ(食べ残しや調理くず)が少なくなるように工夫している」「余分に物を買わないようにしている」の数値が高い。
- ・ひとり暮らし高齢者では「生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている」が最も多くなっている。

表 年齢別 ごみと資源の排出量を減らすために気をつけていること

		問27 環境モデル都市横浜の実現に向け、ごみと資源の排出を減らすために家庭で気をつけていること (%)													
		合計	積極的に再生品や中古品を購入している	食品残さ(食べ残しや調理くず)が少なくなるように工夫している	生ごみは、十分に水分を切ってから捨てている	電気式生ごみ処理機や生ごみコンポスト容器などを使用し、生ごみをたい肥化している	買い物には、マイバッグ(買い物袋)を持参している	割り箸を断り、マイ箸を使用している	マイボトル(水筒)やマイカップを使用し、飲料容器や紙コップの利用を減らしている	余分に物を買わないようにしている	使い捨て商品よりも、詰め替え商品を選んでいる	過剰包装は断るようになっている	その他	特に何もしていない	不明
		(件)													
全体		1906	9.5	50.2	53.9	5.1	60.3	17.9	36.9	48.5	65.2	47.0	0.5	1.8	3.9
F2 年齢	20歳代	145	8.3	42.8	35.9	2.1	59.3	12.4	32.4	44.8	69.0	43.4	0.7	3.4	0.7
	30歳代	243	9.1	37.0	37.9	6.6	60.9	19.8	37.0	39.5	74.1	51.0	1.2	2.1	0.4
	40歳代	294	13.3	50.0	45.6	3.1	61.6	19.7	45.9	47.6	73.1	57.5	0.7	2.4	0.0
	50歳代	308	8.1	43.5	51.3	4.5	63.3	17.2	32.8	47.4	71.8	46.8	0.0	1.6	0.6
	60歳～74歳	592	9.8	59.0	66.2	6.8	67.4	17.7	37.8	52.9	64.7	48.6	0.5	1.7	1.7
	75歳以上	266	9.8	64.7	73.7	5.6	51.9	22.2	39.8	61.3	53.8	40.2	0.4	0.8	2.3
	不明	58	0.0	5.2	5.2	0.0	3.4	0.0	1.7	3.4	1.7	1.7	0.0	0.0	94.8
F2高年層×F4ひとり暮らし	60歳～74歳-ひとり暮らし	55	12.7	61.8	63.6	5.5	54.5	20.0	30.9	61.8	58.2	41.8	0.0	1.8	3.6
	75歳以上-ひとり暮らし	46	4.3	67.4	73.9	0.0	41.3	30.4	50.0	65.2	65.2	37.0	0.0	0.0	0.0